

「ログトリ」 ver. 1.0.3
操作マニュアル

2011年7月14日 版

ナビッピドットコム株式会社

目次

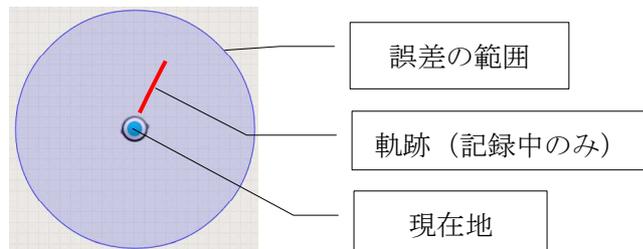
1. トップ画面	- 3 -
1-1 メモ	- 4 -
1-1-1 メモの登録	- 4 -
1-1-2 メモの編集・削除	- 4 -
1-2 スポット	- 4 -
1-2-1 スポットの表示	- 4 -
1-2-2 スポットの登録	- 4 -
1-2-3 スポットの編集・削除	- 5 -
2. 履歴一覧画面	- 6 -
3. 分析結果画面	- 7 -
3-1 地図形式	- 7 -
3-1-1 停止位置の編集	- 7 -
3-2 リスト形式	- 8 -
4. 設定項目	- 9 -
5. Q&A	- 10 -
6. 主な使い方流れ	- 11 -

1. トップ画面

ログ記録前（起動時の画面）



表示



ログ記録中



 取得開始	ログの記録を開始する。
 取得終了	ログの記録を終了し、分析を行って分析結果画面を表示する。
 メモ	現在時刻に紐づくメモを登録する。 (参照：メモ)
 スポット	登録されたスポットを地図上に表示する。 (参照：スポット)
 履歴	履歴一覧の表示を行う。 (参照：履歴一覧画面)
 設定	各種設定を行う。 (参照：設定画面)
 現在地	地図を操作したときに表示され、タップするか 15 秒間操作しないと現在地が中心に表示される。

1-1 メモ

1-1-1 メモの登録

地図画面の  をタップ
メモ



登録	メモとして入力された値を保存する。 保存したメモは地図上に  として表示される。 (※入力欄が空の場合は登録されない)
取消	登録せずにダイアログを閉じる。

1-1-2 メモの編集・削除

地図上の  をタップ



更新	メモを入力された値に変更して保存する。 (※入力欄が空の場合は更新されない)
削除	メモを削除する。
取消	変更せずにダイアログを閉じる。

1-2 スポット

1-2-1 スポットの表示

地図画面の  をタップ
スポット

地図上のスポットが登録された位置に  が表示される。

1-2-2 スポットの登録

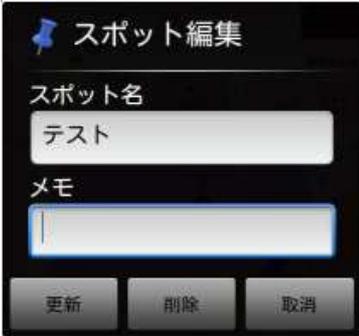
地図画面をタップ&ホールド (長押し)



登録	入力されたスポット名、スポットに関するメモを保存する。 (※スポット名が空の場合は登録されない) (※同じスポット名は登録できない)
取消	登録せずにダイアログを閉じる。

1-2-3 スポットの編集・削除

地図上の  をタップ



スポット編集

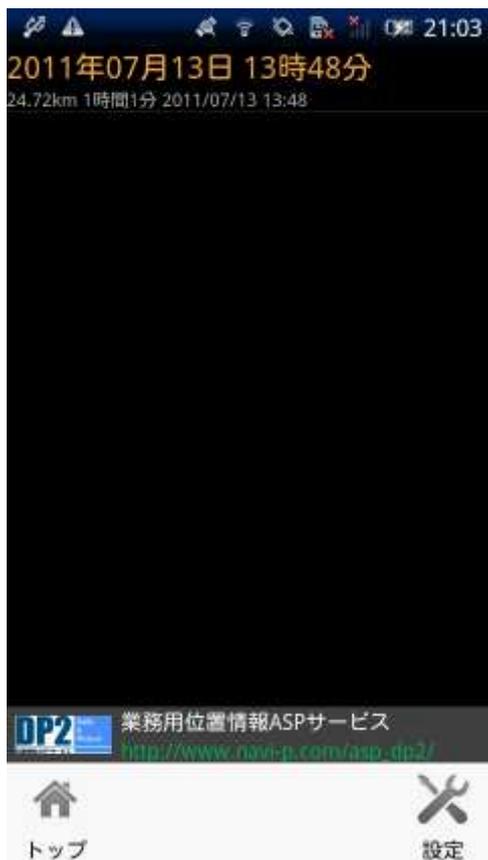
スポット名
テスト

メモ

更新 削除 取消

更新	スポット名、メモを入力された値に変更して保存する。 (※スポット名が空の場合は更新されない) (※同じスポット名が登録されている場合は更新されない)
削除	スポットを削除する。
取消	変更せずにダイアログを閉じる。

2. 履歴一覧画面



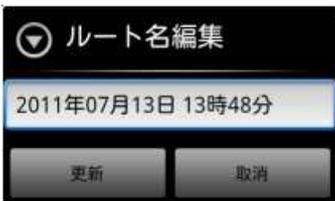
各画面の履歴を押すことで表示される。

 トップ	トップ画面を表示する。 (参照：トップ画面)
 設定	各種設定を行う。 (参照：設定表示)

・ルート名タップで分析結果（地図）画面を表示する。

・ルート名をタップ&ホールドすると、メニューが表示される。



ルート名編集	ルート名編集ダイアログが表示される。  <table border="1" data-bbox="965 1467 1364 1668"> <tr> <td>更新</td> <td>ルート名を入力した値に変更する。</td> </tr> <tr> <td>取消</td> <td>変更せずにダイアログを閉じる。</td> </tr> </table>	更新	ルート名を入力した値に変更する。	取消	変更せずにダイアログを閉じる。
更新	ルート名を入力した値に変更する。				
取消	変更せずにダイアログを閉じる。				
削除	ルートを削除する。				
再分析	ルートの再分析を行う。 (※記録してから一日経つと再分析できなくなる)				

3. 分析結果画面

3-1 地図形式



 トップ	トップ画面を表示する。 (参照：トップ画面)
 リスト	分析結果の表示形式をリスト形式に切り替える。 (参照：分析結果画面 (リスト形式))
 スポット	登録されたスポットを地図上に表示する。 (参照：スポット)
 履歴	履歴の一覧を表示する。 (参照：履歴一覧画面)
 設定	各種設定を行う。 (参照：設定画面)

3-1-1 停止位置の編集

地図上の  をタップ



	停止位置の近くに登録されているスポットとインターネットで取得したスポットの一覧が表示される。  選択したものが入力される。
更新	停止位置情報を入力した値に変更する。 「スポットにも登録」にチェックされている場合は、スポットに登録する。
取消	変更せずにダイアログを閉じる。

3-2 リスト形式



 トップ	トップ画面を表示する。 (参照：トップ画面)
 地図	分析結果の表示形式を地図形式に切り替える。 (参照：分析結果画面 (地図形式))
 メール	履歴をメールで送信する。 送信先の初期値は設定画面で設定する。 (参照：設定画面のメール送信先) <div data-bbox="831 533 1241 1039" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【ログトリ】 2011年07月13日 13時41分 13:48 ●横浜ジャックモール(9分) 13:58 walk(1km)(9分) 14:07 ●横浜駅(4分) 14:12 train(24km)(33分) 14:46 ●田町駅(2分) 14:48 walk(0.2km)(1分) 14:50 ●会社(0秒) 14:50 </div>
 履歴	履歴の一覧を表示する。 (参照：履歴一覧画面)
 設定	各種設定を行う。 (参照：設定画面)

停止位置（灰色行）をタップ



地図に表示	停止位置を分析結果画面（地図形式）上に表示する。
スポット名編集	停止位置の編集を行う。 (参照：分析結果画面 (地図形式) の停止位置の編集)
削除	停止位置を削除する。 削除すると前後の移動が結合される。 (※開始と終了の停止位置は削除できない)

移動（黒色行）をタップ



地図に表示	軌跡を分析結果画面（地図形式）上に表示する。
削除	移動を削除する。 削除すると前後の停止位置が結合される。

4. 設定項目

項目名	有効値	初期値
	説明	
位置取得設定		
取得最小時間間隔 (秒)	0-300	0
	次の位置を取得するまでの間隔。	
取得最小距離 (m)	0-200	0
	次の位置を取得するまでの距離。 この値が大きいと停止の判定が難しくなる。	
経路分析設定		
最低精度 (m)	0-200	100
	分析に使用する位置情報の最低精度。 この値が大きいと分析結果の精度は下がる。	
停止と判断する速度 (m/分)	0-200	5
	この速度以下で移動している場合に停止とみなす。 この値が大きくなると停止位置が多くなる。	
停止中の誤差 (m)	10-100	30
	停止中のこの値内での移動を無視する。 この値が小さいと一度の停止が分割される。	
最低停止時間 (秒)	0-200	90
	この値より短時間の停止は無視する。 この値が大きいほど無視される停止が多くなる。	
表示色判定速度 1 (m/分)	0-800	500
	移動速度によって3色に分割されている。色は早い順に赤、黄色、青となっており、判定速度 1 は赤と黄色の判定基準である。 この値が大きいほど赤が少なくなり、黄色が多くなる。	
表示色判定速度 2 (m/分)	0-800	220
	判定速度 2 は黄色と青の判定基準にあたる。 この値が大きいほど黄色が少なくなり、青が多くなる。	
分析に API を使用しない	—	—
	分析時のスポット名取得に API を使用しない場合にはチェックする。	
データ設定		
何日分保存するか (日)	1-100	60
	ルート情報を保存する期間。	
送信メール先	—	—
	リスト情報の送信先になるメールアドレス。	
初期の設定値に戻る	設定を初期の値に戻す。	
このアプリについて	このアプリと開発者に関する情報を表示する。	
一番新しい経路を再分析	最後に記録した経路を分析する。	

5. Q&A

Q. 電池の消費を抑えたい。

A. [設定]→[位置取得設定]→[取得最小時間間隔]の値を大きくすることで、位置の取得回数を減らし、電池の消費を軽減することができます。ですが、大きくすることで分析に影響が出る場合があります。

Q. 分析結果の移動を表す線の一本の長さが長い。

A. [設定]→[経路分析設定]→[最低精度]の値を大きくすることで誤差が大きいデータも分析に使用することが出来ます。

Q. 停止位置を増やしたい。

A. [設定]→[経路分析設定]→[最低停止時間]の値を小さくすることで短い時間の停止を表示すること出来ます。

Q. 停止位置を減らしたい。

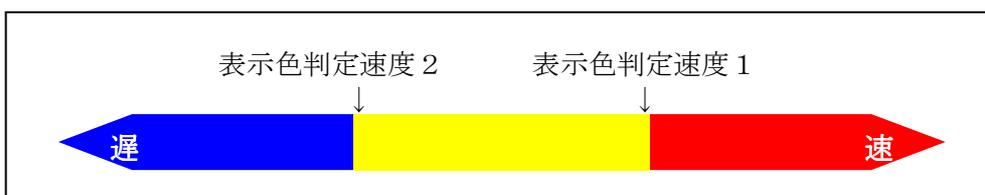
A. [設定]→[経路分析設定]→[最低停止時間]の値を大きくすると、その値より短い停止はリストには表示されず、地図上では小さな停止点として表示されるようになります。

Q. 停止位置が多い。

A. [設定]→[経路分析設定]→[停止と判断する速度]の値を大きくすることで停止位置を減らすことが出来ます。また、[停止中の誤差]の値を大きくすることで停止中にもかかわらず、誤差のせいで移動していると語判定されるのを減らせます。

Q. 分析結果の色分けを変更したい。

A. 分析結果の色分けは速度によって行われます。[設定]→[経路分析設定]→[表示色判定速度 1]と[表示色判定速度]の値を変更することで分析結果も変えることが出来ます。



Q. 分析が遅い。

A. [設定]→[経路分析設定]→[分析に API を使用しない]にチェックを入れると分析中にインターネットに接続しなくなる分、時間が短縮されます。

Q. 分析できないまま位置記録が終了してしまった。

A. [設定]→[一番新しい経路を再分析]を選択することでルート情報が残っていれば再分析できます。

Q. 何度再分析しても分析できない。

A. ルートの記録は最低一分しないと分析されないようになっておりますので、もう少し長いルートを記録してください。

6. 主な使い方流れ

ログトリでルート記録を取り、編集するまでを説明する。



アプリを立ち上げるとロゴ画面が表示される。しばらくするとトップ画面に切り替わり、現在地と誤差が地図の中央に表示される。



ルートの記録はこのトップ画面で行う。トップ画面の左下にある記録開始のボタンを押すと、位置を記録し始める。



位置記録中は、画面上にステータスバーが表示され、記録している経路の距離と時間がわかる。また、位置の記録中はメモを記録することが出来る。(1-1 メモ参照)



ルートの記録を終了する時は右下「記録終了」を押す。



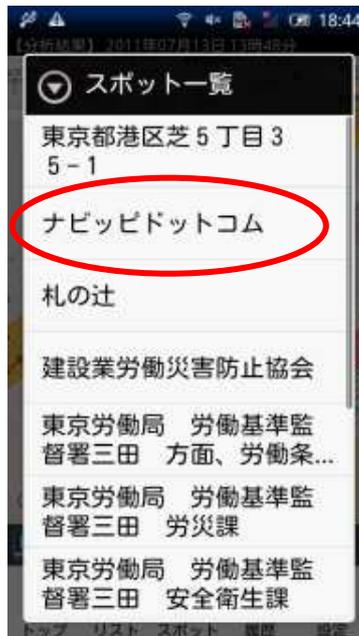
ボタンを押すと経路の分析が開始され、終了後分析結果画面が表示される。



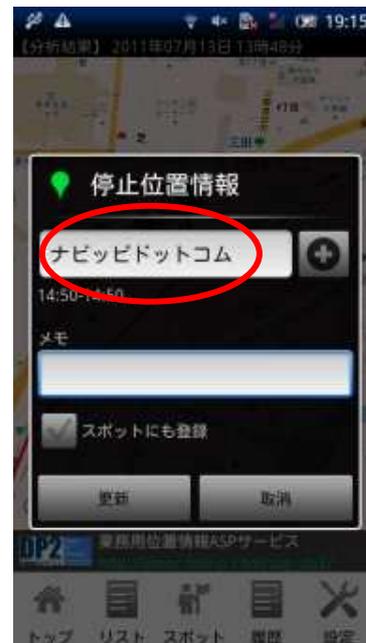
地図上では停止点をタップすることで停止位置情報を見ることが出来る。



停止していた時間や停止位置名を見ることが出来る。また、プラスボタンを押すことで近くのスポット名を取得することができる。



取得したスポットの中から選んでタップする。



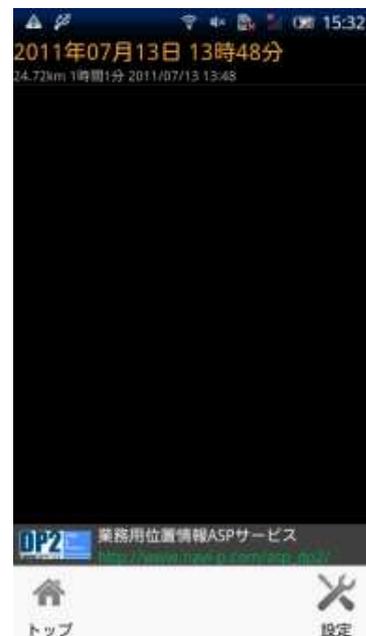
そうすると、画面のように停止位置名が変更される。更新ボタンを押すことで、データベースに保存されている内容も更新される。



分析結果はリストの形式でも見ることが出来る。現在地図で見ている結果をリストで表示させるには右下のリストボタンを押す。



リストでは移動停止の削除を行うことが出来る。そうすることで自分の欲しい停止だけのリストにすることが出来る。



今までに記録した経路の一覧を表示するには各画面下にある履歴ボタンを押す。この画面では経路の削除や経路名の更新を行うことが出来る。



また、履歴一覧画面では一部の経路を再分析することが出来る。再分析は、経路をロングタップしてメニューを表示させ、再分析を選択することで行える。



上の画面は再分析を行った結果である。経路の色分けに関する設定を行ったので、ここでは一部の青い線が黄色い線に変わっている。



リストはメールで送ることが出来る。